令和７年　業種別労働災害発生状況

（令和７年5月末現在）

旭川労働基準監督署

区分 / 業種別		令和７年			前年同期			対　前　年		業種割合	令和６年(確定)		
		死亡	休業	合計	死亡	休業	合計	増減数	増減率	(%)	死亡	休業	合計
全産業合計		1	228	229	1	216	217	12	5.5	100.0	3	673	676
製造業			24	24	1	38	39	-15	-38.5	10.5	3	86	89
内訳	食料品		11	11		11	11		±0	4.8	1	23	24
	木材・家具装備品		5	5		10	10	-5	-50.0	2.2		22	22
	紙・パルプ		1	1				1		0.4			
	窯業・土石					2	2	-2	-100.0			4	4
	金属・機械		2	2		8	8	-6	-75.0	0.9	1	12	13
	その他		5	5	1	7	8	-3	-37.5	2.2	1	25	26
土石採取業						1	1	-1	-100.0			4	4
建設業			27	27		21	21	6	28.6	11.8		58	58
内訳	土木工事業		16	16		7	7	9	128.6	7.0		18	18
	建築工事業		9	9		8	8	1	12.5	3.9		32	32
	木造建築業		1	1		3	3	-2	-66.7	0.4		5	5
	その他		1	1		3	3	-2	-66.7	0.4		3	3
道路貨物運送業			27	27		24	24	3	12.5	11.8		69	69
その他の運輸業			7	7		9	9	-2	-22.2	3.1		15	15
陸上貨物運送事業												1	1
林業			5	5		1	1	4	400.0	2.2		9	9
卸売・小売業			33	33		28	28	5	17.9	14.4		80	80
清掃業			17	17		17	17		±0	7.4		41	41
その他の事業		1	88	89		77	77	12	15.6	38.9		310	310
内訳	農業・畜産業		5	5		6	6	-1	-16.7	2.2		31	31
	社会福祉施設		32	32		17	17	15	88.2	14.0		92	92
	その他	1	51	52		54	54	-2	-3.7	22.7		187	187

※　本統計は、労働者死傷病報告書（休業４日以上）により集計したもの。
管轄は旭川市、上川町、愛別町、比布町、当麻町、鷹栖町、東神楽町、東川町、美瑛町、幌加内町、富良野市
上富良野町、中富良野町、南富良野町、占冠村の２市、１２町、１村です。

〈今月のコメント〉

・建設工事着工期労働災害防止運動（4/1～6/30）の期間中です。

建設工事現場が動き出す4月～6月の「『着工期』こそ、安全対策の『質』を決める時期」をスローガンに、建設工事着工期労働災害防止運動を展開します。安全管理の体制の再確認や安全意識の定着を図ることが重要です。

・全国安全週間（7/1～7/7）の準備期間（6/1～6/30）です。

スローガン：多様な仲間と　築く安全　未来の職場

・令和7年6月1日より労働安全衛生規則（熱中症関係）が改正されます。

熱中症のおそれがある労働者を早期に見つけ、その状況に応じ、迅速かつ適切に対処することにより、熱中症対策の重篤化を防止するため、「体制整備」、「手順作成」、「関係者への周知」が事業者に義務付けられます。

〈死亡災害ゼロ継続日数〉
（令和7年5月末現在）

・製造業　5か月
・建設業　3年8か月
・運送業　3年10か月
・林業　1年10か月
・農業　3年

令和７年　死亡労働災害発生状況

（令和７年5月末現在）　　旭川労働基準監督署

№	発生月	時刻	業種	事故の型	起因物	災害発生概況
1	1	14	通信業	交通事故	整地・運搬・積込み用機械	被災者は、バイクにより郵便配達作業中、後退してきた除雪作業中のモーター・グレーダーに激突され、下敷きになったもの。

※本件事例には、脳・心臓疾患等によるものは、掲載していません。